

五峯山に於けるギフチョウはマルバカンアオイに産卵し、それを食する。寺の南の一段高まつたところは見晴しもきき、日当たりもよいので、採集に最も好適である。快晴の午前中ここに陣取れば、次々と現われるので労少くして能率をあげ得る。更に山の南の谷にも採集出来、つと距つた人家の辺でも見受ける。1930年には加古川の飛船の名勝として知られた園籠灘の旅館の前で得たし、更に妻畑の中を通る県道上にても採集した。最近1948市場小学校の校庭でも得るといつたように飛翔力の弱そうに見える本種

が、山地より距つたところで得られることは面白い。太陽の日射しの土の上に翅を展げて憩うことが多く、時にはツツジの花に、アブラナの花に集ることがあるが、採集は容易である。

其他寺の境内で地上に憩うコツバメ (Satsuma ferrea Butler) を多数に得た例もあるし(1929年)、昨年(1949年)には珍らしくもスジグロシロチョウ (Pieris melete Mene) が多数山麓で採集された。

## 淡路島の暖地性植物、寒地性植物、其の他

河 野 好 博

淡路島で、来年採集会をしようとする話が出ているので、淡路島に産する植物の中から、暖地性植物並に寒地性植物、其の他分布上注目すべきもの、稀なもの等を抜き出してみる。多少なりとも御参考になれば幸である。

暖は暖地性植物を、寒は寒地性植物を、他は其の他のものを表す。○印のものは初めて発表するものである。

なお私は、北村、田川阿博士其の他の先生方の御指導により、淡路島の植物についてしらべているが、淡路では、松沢先生始め先輩の方々がお御努力なさつたことと、同志の方が御協力下さつておることとを付記して、之等の方々にお敬意を表する。

### キク科

暖一テイシヨウソウ 柏原山、諭鶴羽山。ノヂギク 三熊山、鮎原、富島。アブラギク 鮎原、広石。ハマアザミ 灘。アゼトウナ 上灘、沼島。ハンカイソウ 三熊山、仁井、野島。ハマグルマ、筒飯野浜、吹上浜。

寒一カセンソウ 育波、神代。○ホシナシヒヨドリ 三熊山、鮎原。

他一○フクドヨモギ 松帆三原川河口。○マヤサンコンギク 猪ノ鼻。○ヨシノアザミ 鮎原。キクアザミ 仁井。○ホンバノミツバヒヨドリ 鮎原。

### キキョウ科

暖一ヒナギキョウ 普通。

### スイカヅラ科

寒一ゴマギ 猪ノ鼻

他一○アラゲガマズミ 柏原山。

### アカネ科

暖一アリドウシ 三熊山、津井、上灘、沼島。クチシナ 普通。カギカヅラ 猪ノ鼻。ルリミノキ 上灘。

他一○オニフタバムグラ 筒飯野。○ハシカグリ 柏原山。

### ハエドクソウ科

他一ハエドクソウ 三熊山。

### タヌキモ科

暖一コタヌキモ 鮎原、加茂。

### ハマウツボ科

他一ナンバンギセル 中川原、三熊山、千草、沼島。ハマウツボ 安乎、江井、吹上浜。

### ゴマノハグサ科

寒一ウラン 浅野、郡家、郡志、筒飯野浜、吹上浜。

### ナスビ科

暖一メジロホウヅキ 灘、上灘。

### クチビルバナ科

寒一○カワミドリ 猪ノ鼻。ヒキオロシ 鮎原、富島。

他一ラショウモンカツラ 猪ノ鼻。

### クマツヅラ科

暖一ハクサギ 千草。コムラサキ 先山。

### ガガイモ科

暖一キジョラン 猪ノ鼻。

### キョウチクトウ科

暖一サカキカツラ 三熊山、先山、猪ノ鼻、煙島。

### フジウツギ科

暖一ホウライカツラ 猪ノ鼻。

### ハイノキ科

暖一カンザブノウキ 広鮎田屋。

### カキ科

暖一トキワガキ 灘。

### イソマツ科

暖一ハマサジ 筒飯野浜。

### サクランウ科

暖一ハマボツス 普通。

### ヤブコウジ科



暖一ヒチノキ 三熊山、山田。

セリ科

暖一アシタバ 稍普通。ハマウド 上灘、沼島。ミシマサイコ 三熊山、生穂。

寒一ドクゼリ 神代。ハマゼリ 筒飯野浜。

他一タカオキヨウカツ 仁井。

ウコギ科

暖一ヤツテ 三熊山。カクレミノ 普通。

寒一タラノキ 普通。ハリギリ 三熊山、柏原山。

ミンハギ科

暖一ミンハギ 仁井、生穂、広石、柏原山。マルバグミ 上灘。

他一アリマグミ 育波、鳥飼、三熊山。

キブシ科

暖一イイギリ 三熊山。

他一〇ハチジヨウキブシ 柏原山。

スミレ科

暖一ナガバタチツボスミレ 稍普通

オトギリソウ科

暖一トモエソウ 野島。

ツバキ科

暖一ハマヒリカキ 上灘。モツク 普通。

サルナシ科

寒一サルナシ 三熊山。

他一マタタビ 柏原山、仁井。

アオイ科

暖一〇ハマボウ 筒飯野。

モガシ科

暖一モガシ 三熊山、沼島。ヅクノキ 三熊山、猪ノ鼻。

ブドウ科

暖一オトコブドウ 普通。

クロウメモドキ科

暖一ハマナツメ

アオカヅラ科

暖一ヤマビワ 三熊山。

カエデ科

暖一イロハカエデ 浅野、広石。

他一ウリハダカエデ 柏原山、諭鶴羽山。

ニシキギ科

暖一ユシキギ 仁井、富島、先山。ツルマサキ 三熊山。

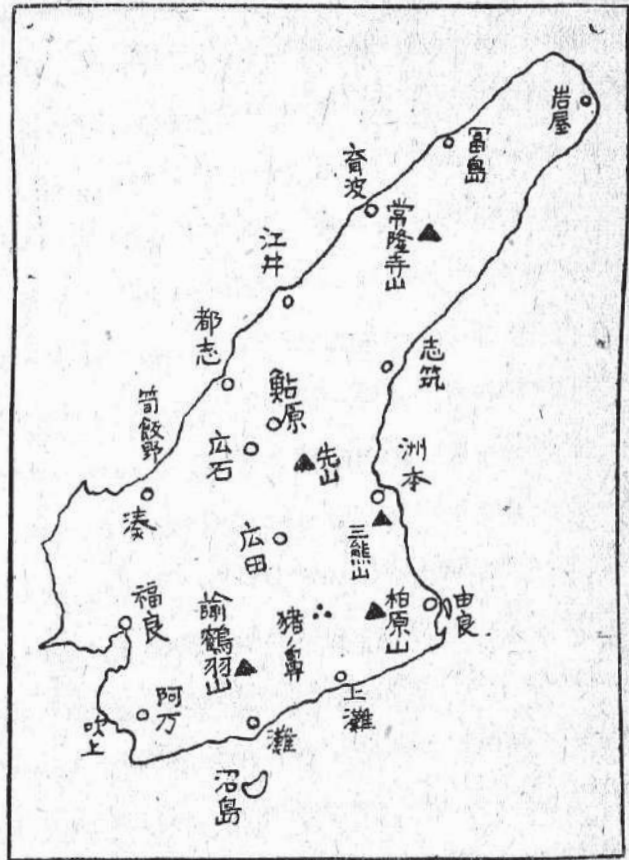
モチノキ科

暖一タラヨウ 三熊山、猪ノ鼻。ソヨコ 普通。クロガネモチ 三熊山、上灘。

トウダイグサ科

暖一ヒメユヅリハ 三熊山、上灘、沼島。カシコノキ 猪ノ鼻、柏原山、上灘、灘、沼島。

センダン科



暖一センダン 稍普通。

ヘシルウダ科

暖一ミヤマシキミ 柏原山、諭鶴羽山。〇フユザンショウ 鮎原、沼島。コクサギ 普通。

ハマビシ科

暖一ハマビシ 富島、室津、育波。

マメ科

暖一ハマナタマメ 灘、沼島。キハギ 干草。

バラ科

暖一カナメモチ 三熊山、上灘。ヤマザクラ 普通。リンボク 三熊山、上灘。マルバシヤリンバイ 福良、上灘、沼島。オオサクライバラ 仁井。ツチグリ 鮎原。ホウロクイチゴ 猪ノ鼻。

トベラ科

暖一トベラ 普通。

ユキノシタ科

寒一ゴトウツル 稍普通。イワガラミ 三熊山、諭鶴羽山。

他一〇コガクウツギ 猪ノ鼻。〇ヤブサンザシ 猪ノ鼻。

ベンケイソウ科

暖一ツメレンゲ 広石。

イシモチソウ科



暖一コモウセンゴケ 育波。  
ジユウジバナ科

暖一ハマダイコン 中川原。  
ケシ科

暖一キケマン 福良。  
クスノキ科

暖一カゴノキ 三熊山。ヤブニツケイ 三熊山、広石、仁井。タブノキ 三熊山。イヌガシ 広石。シロダモ 三熊山、柏原山、猪ノ鼻、鮎原。  
ツツラフジ科

暖一ハスノハカヅラ 猪ノ鼻、由良、上灘。  
メギ科

他一シロバナイカリソウ 三熊山。  
アケビ科

他一ゴヨウアケビ 富島、榎列。  
ウマノアシガタ科

暖一コバノボタンヅル 上灘。  
他一ミスミンソウ 柏原山。スハマソウ 柏原山。  
ヒツジグサ科

寒一ジュンサイ 広石。ヒツジグサ 鮎原、鳥飼、松帆。  
ナデシコ科

暖一フジナデシコ 普通。  
アカザ科

暖一〇マツナ 筥飯野浜。  
寒一ホンバナハマアカザ 普通。シチメンソウ 中田、洲本。  
他一〇カワラアカザ 筥飯野浜。〇アリタソウ 筥飯野、湊。  
ウマノスズクサ科

寒一カンアオイ 鮎原、中川原、灘。  
ヤドリギ科

暖一マツグミ 稍普通。  
他一ヤドリギ 広石、仁井。  
イラクサ科

暖一〇サンショウソウ 柏原山。〇ヤナギイノコヅチ 三熊山、猪ノ鼻。  
クワ科

暖一カジノキ 上灘。イヌビワ 普通。ホンバイヌビワ 上灘、灘、沼島。ヒメイタビ猪ノ鼻。オオイタビカヅラ 猪ノ鼻。  
ニレ科

暖一ケヤキ 富島。  
寒一アキニレ 普通。  
ブナ科

暖一アカガシ 三熊山、上灘。アラカシ 普通。ツクバネガシ 三熊山、諭鶴羽山。カシワ 広石、都志。ウバ

メガシ 普通。アベマキ 育波、広石。ツブラジイ 育波、三熊山。スダジイ 普通。

寒一クヌギ 稍普通。コナラ 仁井、富島。  
カバノキ科

寒一ハンノキ 普通。ヤマハンノキ 柏原山。サワシバ 三熊山。ハシバミ 柏原山。イヌシデ 三熊山。  
他一ヤシヤブシ 柏原山。  
クルミ科

暖一ノグルミ 普通。  
他一オノグルミ 鮎原。  
ヤマモモ科

暖一ヤマモモ 普通。  
ヤナギ科

寒一ハコヤナギ 三熊山、柏原山、神代。  
チヤラン科

暖一センリョウ 三熊山。  
ラン科

暖一〇フウラン 鮎原。サイハイラン 稍普通。  
他一クマガイソウ 柏原山。アツモリソウ 柏原山。ミヤマウズラ 柏原山、先山、常隆寺山。〇コ克蘭 柏原山。  
ヒナノシヤクジョウ科

暖一ヒナノシヤクジョウ 柏原山。  
ヒガンバナ科

暖一スイセン 上灘、灘。  
ユリ科

暖一〇キキョウラン 沼島。シライトソウ 稍普通。  
寒一〇カタクリ 先山。  
他一ソクシンラン 干草、先山、富島。ミヤマナルコユリ 常隆寺山。〇チャボゼキショウ 鮎原。オモト 柏原山。〇ヤマホトトギス 三熊山。  
ビヤクブ科

暖一〇ナベワリ 柏原山。  
ツユクサ科

他一〇ヤブミヨウガ 先山。  
テンナンショウ科

寒一ヒロハテンナンショウ 常隆寺山。  
カヤツリグサ科

寒一〇アブラシバ 先山。  
他一〇テクリスゲ 鮎原。  
ホモノ科

暖一ダンチク 由良、灘、上灘。ミノボロ 普通。イタチガヤ 福良。タキキビ 沼島。  
ホンゴウソウ科

他一ホンゴウソウ 柏原山。  
マツ科



暖一ツガ 先山。

イチャイ科

暖一イヌマキ 三熊山。

ウラボシ科

暖一コウザキシダ 柏原山。ハコネソウ 猪ノ鼻、柏原山。チャセンシダ 柏原山、猪ノ鼻。シノブ 柏原山。ヘラシダ 猪ノ鼻、柏原山。ナガサキシダ 猪ノ鼻。イワヤナギシダ 三熊山、柏原山。クリハラン 猪ノ鼻、柏原山。オタマシダ 沼島。オオキジノオ 猪ノ鼻。アマクサシダ 三熊山。オオカナワラビ 柏原山。

寒一クジャクシダ 猪ノ鼻、柏原山。コウヤワラビ 三熊

山。リョウメンシダ 先山。

他一〇オオイタチシダ 三熊山。ヒメノキシノブ 三熊山。キジノオシダ 三熊山、柏原山。

コケシノブ科

他一コケシノブ 柏原山。

イワヒバ科

他一イワヒバ 猪ノ鼻。

ヒカゲノカタラ科

暖一ミズスギ 入木、沼島。

寒一マンネンスギ 先山。

他一ホンバノトウゲシバ 柏原山。

## クロアシナガコガネに就いて

高橋 寿 郎

### Notes on *Hoplia moerens* WATERHOUSE

by Tosio Takahasi

クロアシナガコガネ (*Hoplia moerens* Waterhouse) はコガネムシ科 (Fam. Scarabaeidae), アシナガコガネ亜科 (Subfam. Hopliinae), アシナガコガネ属 (Genus *Hoplia*) に属する一種である。

Waterhouse氏が産地として Hiogo, Nagasaki を挙げ、沢田氏が J. E. A. Lewis氏の標本より Mt. Unzen を報告された以外、不幸各地からの産地がほとんど知られて居ない様である。兵庫県下に於いても Waterhouse氏が発表された以外は全く知られて居ない。Waterhouse氏の Hiogo が何処を意味するのかわからないが案外本種は県下に多産するのではないかと思われる。一般に本種がどんなものであるか知られて居ない事も其の大きな原因の一つと思われる。邦文にて本種の記載あるのは沢田氏のものがあのみである。

筆者が県下に多産するのでは無いか?と言つたのは嘗つて 1940 年旧陸軍演習地であつた、青野ヶ原で本種の群棲するのを見、又採集して現在其の一部の標本を所有するからなのである。其の後再調査を考えた機会を得ずして今日に至つて居るもので、此処に本種の形態を紹介して注意を喚起したいと思ふのである。

筆者も青野ヶ原以外では未採集であるが、あの位群棲して居たのであるから県下各地でもまだ産地はある事と思われる。今後の調査結果に依るとしてかゝる産地を御存知の方は御教示を願いたい。

末筆乍ら本誌発表を御慶め下さつた恩師室井先生に深く御礼申し上げる。

*Hoplia moerens*

Waterhouse

クロアシナガコガネ

Trans. Ent. Soc. London, p. 100 (1875)

Miwa et Chujo, Cat. Coleop. Jap. pars.5, p.73 (1939)

Sawada, Nippon no Kochu, I, 1, p. 37, pl. v, f. 3, 8, 10, pl. VI, f. 4, (1938)

体は黒色・灰白色・褐黒色と種々あれども黒色のものにありては往々艶を有するも他のものに於て、特に灰白色のものは之を缺く。

体の腹面及び尾筭板は銀緑色の光沢ある鱗片にて被わるゝも背面は概ね鱗片を缺き(稀にあるものあり)、暗灰色の微毛にて被われた時に小楯板、前胸背と翅鞘との境目、翅鞘の先端部に銀緑色の鱗片を有す。

頭楯は幅広く、側縁は畧々平行にて前縁は真直なり、触角は合♀共9節にして片状筭は3節よりなり、片部の畧々半分にて早のもの合のものより小なり。

前背板の側縁は中央に於て角ばり、前縁角は少しく突出し、後縁角は時に鈍きも角ばる。尾筭板は概ね平坦にして合に於ては押しつぶされたる感あるも早に於ては稍々凸面

Fig I



*Hoplia moerens* Waterhouse.



Fig II  
*Hoplia moerens* Waterhouse  
♂ 雄生殖器  
a. 背板  
b. 小楯板